

## 第1回未来デザイン車座対話まとめ

### 1. インプットトーク3つの論点

1. この5年で外国人労働者への受け入れに意見が転換したと言う世論調査結果が、必要性に気づけば世論が転換する一例として紹介された。
2. ソーシャルビジネスの視点から、社会課題に世代を超えて取り組む「共助」が分断を乗り越える鍵になるのではないかとの紹介があった。
3. 人を巻き込むためには、正義感といったマインドだけではなく、マーケティング等のビジネススキルも有効だと紹介された。

### 2. 全体対話3つの論点

1. これからの人口減少社会では全国一律サービスはできないことを前提に、政令指定都市が、地方と東京の中間拠点として機能をより強化し、地方の受け皿となることが国力維持につながるという解決策が提案された。
2. これからの地方の在り方として、マーケティング戦略で人を惹きつけるまちになること、サービス低下といった事実を伝えるためのコミュニケーションデザインの必要性、向かう先を示すことができるリーダーシップの必要性が示された。
3. 孤立や若者の自己肯定感の低さなどの日本の社会課題の背景にはコミュニケーション不全が存在し、これからは身近に寄り添う存在がいるコミュニティをどうデジタルで補完できるかを考える必要があるとの指摘があった。

全体対話サマリー：「人」の観点から見て、2040年のありがたい街の姿は？

